

資料目次

- 資料1 . . . 岡山大学大学院改革・産学共創に関するアンケート調査結果

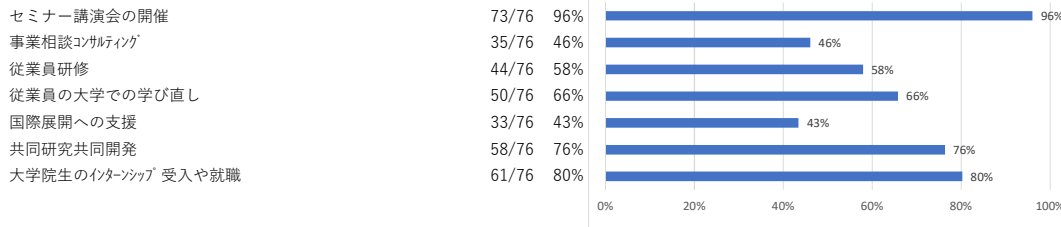
- 資料2 . . . 岡山大学大学院改革・産学共創に関するアンケート様式

1.回答企業名

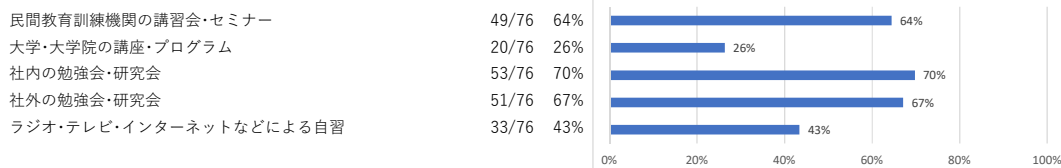
回答76社

2.回答企業業種

3.地域との共育・共創を進めようとする岡山大学の以下の取組についてご期待頂けますか。それぞれについてお答えください。



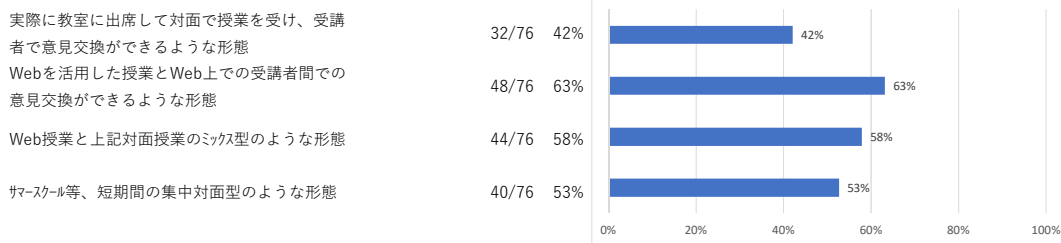
4.御社・機関で従業員の皆様の学び直し（リカレント教育）や研修で利用されているものについて、それぞれお答えください。



5.前問の学び直し（リカレント教育）や研修はどのようなテーマ内容について学ばれているかについてお答えください。

管理職・マネジメント	16件	※回答のあったものうち上位5項目
法務・税務	12件	
経営戦略・マーケティング	7件	
語学	6件	
個人情報・情報セキュリティ	6件	

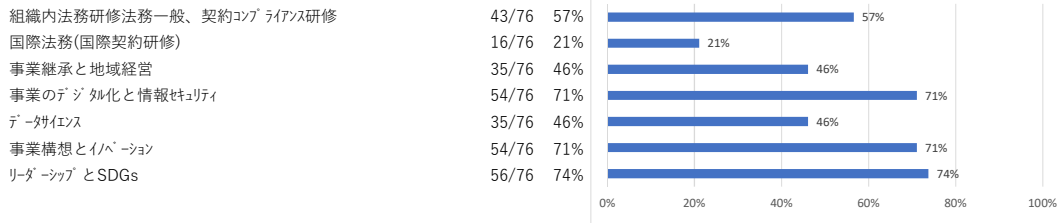
6.岡山大学の大学院でどのような形態で学び直し（リカレント教育）や研修のプログラムが準備されれば、御社・機関の従業員の皆様に受講頂けるかを、それぞれについてお答えください。



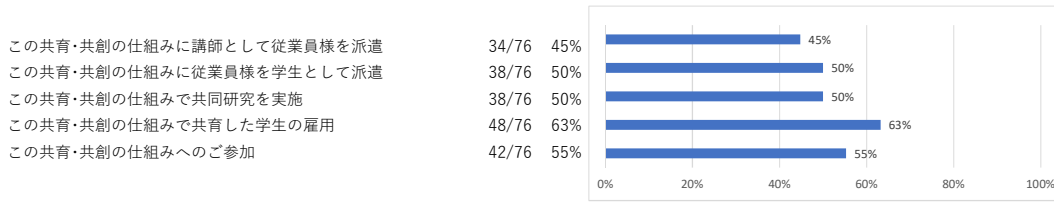
また、社会人の皆様に大学院の正規課程でも学んで頂くために、Webを活用した授業やゼミなどの実施が考えられます。今後、どのような課題をクリアできれば、御社・機関の従業員の皆様に大学院の正規課程で学んで頂けますでしょうか、お答えください。

時間的制約（休日、就業時間外、録画配信等）	25件
講義内容	8件
社内制度等の整備	7件
コスト（web環境、受講費用）	4件

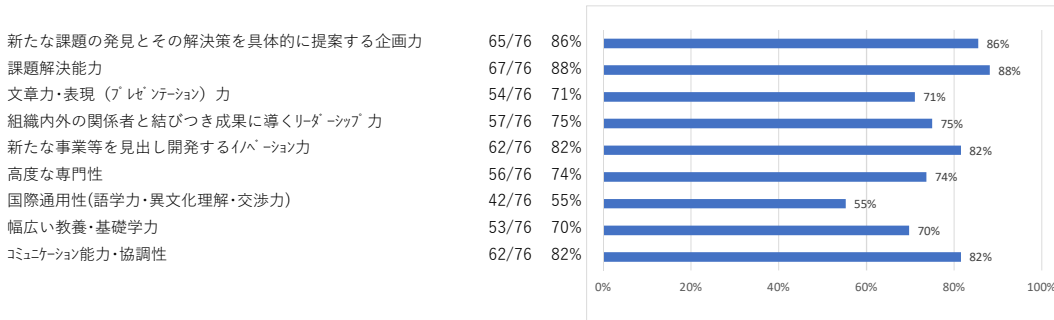
7.御社・機関の従業員の皆様に岡山大学で受講させたい、学び直し（リカレント教育）や研修の内容について、以下の項目についてそれぞれお答えください。



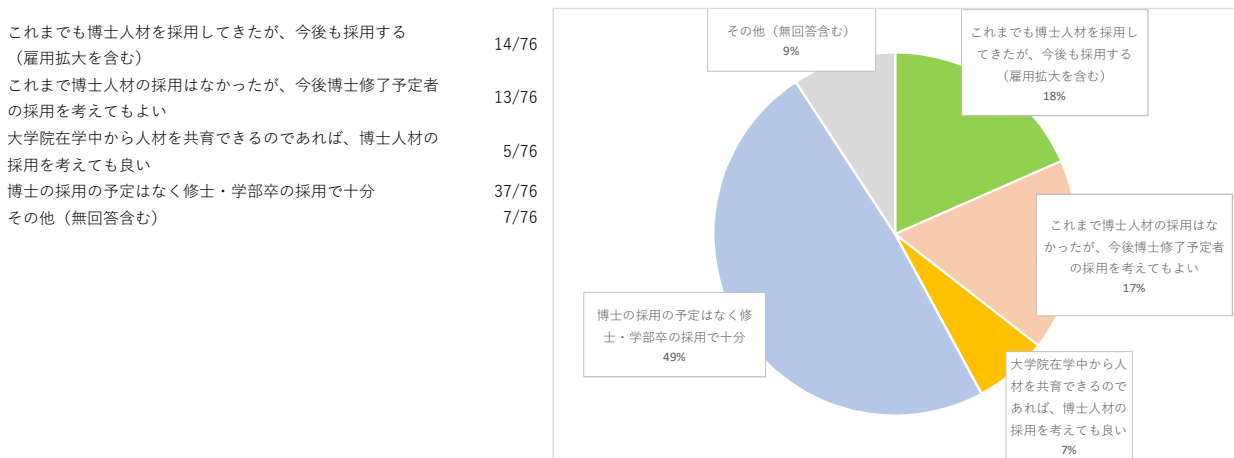
8. 本学の大学院改革では、産業界・地域との共創（オープンイノベーション）を推進する中で、世界に通用する博士人材を共育（現職または将来の従業員の皆様を共同研究を通して共に育て学位取得を目指して頂く）し、地域社会の活性化への貢献を通して本学の研究力を一体的に強化したいと考えています。また、本学の大学院改革に合わせ、会員制の「岡山大学パートナーズ（仮称）」組織を作り、岡山大学の大学院でのリカレント教育や、インターンシップの受け入れ、講師派遣などを通じた、修士・博士人材の「共育」による御社・機関のニーズに沿った人材確保や、本学大学院との共同研究・開発を通じた、「共創」による御社・機関の研究・開発機能のサポートに資する仕組みを構築したいと考えています。そのような仕組みに対する御社・機関のお考えをお伺いします。以下の取り組みについてご検討頂けるかを、それぞれについてお答えください。



9. 岡山大学の大学院修了生に、高度人材としてどのような能力（学修成果）の修得を望まれるかを以下の能力についてそれぞれお答えください。



10. 本学の大学院改革では、研究成果を活かす能力のある博士人材の養成を目指します。御社・機関での、そのような博士人材の採用の可能性について、お教えてください。



令和2年11月10日

岡山経済同友会会員企業 御中
岡山県下商工会議所会員企業 御中

国立大学法人 岡山大学 学長 槇野博史
理事(研究担当)・副学長 那須保友
副学長(大学院改革担当) 舟橋弘晃

岡山大学大学院改革・産学共創に関するアンケートへのご協力について（依頼）

新型コロナウイルス感染症の流行により、皆様大変ご心労のこととお察しいたします。

先の見えぬ状況が続き、国内外の人や物の動きも制限される中で、持続可能な事業形態を手探りで見出さざるを得ない状況となっています。そのような中において、遅れていた地方のデジタル革新をはじめとした大きな社会変化も急ピッチで進むことが予測されており、ポストコロナ社会では、都市一極集中から地域がそれぞれの特色や強みの中で活性化し、魅力ある発展を遂げることを期待する声が高まっています。その期待を実現し、新たな価値を創造する社会や産業を地域に創り出すためには、より高度な能力を持った人材が必要です。

「SDGs 推進研究大学」を掲げる岡山大学は、地域の未来ニーズを形にし、新たな価値を生み出せる能力を持った高度人材を、大学院で育てたいと考えています。

企業や地域の皆様がお持ちの知見や課題と、本学が持つ専門性と研究力を掛け合わせて、大学院生を共に育てていく「共育」と、それを通して新たな価値を創出する「共創」（オープンイノベーション）こそが、その答えになると考えます。

岡山大学が「共育・共創」を軸とする大学改革を行うにあたり、本学にとって重要なパートナーである皆様に、本アンケートをお願いすることを通じて、本学にどのようなご期待を寄せられているか、またどのような人材を求めておられるか、そしてどのような形でご協力をいただけるかを伺い、そこから新たな大学院教育と産学共創の姿を描いて参りたいと存じます。

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、以下のURLから、令和2年12月18日（金）までに本アンケートへの回答について、何卒ご協力を頂ければ幸甚に存じます。

【以下、Google formsにて実施】

1. 御社・機関の会社名・機関名をお教えてください。（記述式）
2. 御社・機関の主な業種についてお教えてください。（記述式）
3. 地域との共育・共創を進めようとする岡山大学の以下の取組についてご期待頂けますか。それぞれについてお答えください。

①セミナー講演会の開催	（選択式）	はい、いいえ
②事業相談コンサルティング	（選択式）	はい、いいえ
③従業員研修	（選択式）	はい、いいえ
④従業員の大学での学び直し	（選択式）	はい、いいえ
⑤国際展開への支援	（選択式）	はい、いいえ
⑥共同研究共同開発	（選択式）	はい、いいえ
⑦大学院生のインターンシップ受入や就職	（選択式）	はい、いいえ
4. 御社・機関で従業員の皆様の学び直し（リカレント教育）や研修で利用されているものについて、それぞれお答えください。

- | | | |
|-------------------------|-------|-----------------|
| ①民間教育訓練機関の講習会・セミナー | (選択式) | 利用している, 利用していない |
| ②大学・大学院の講座・プログラム | (選択式) | 利用している, 利用していない |
| ③社内の勉強会・研究会 | (選択式) | 利用している, 利用していない |
| ④社外の勉強会・研究会 | (選択式) | 利用している, 利用していない |
| ⑤ラジオ・テレビ・インターネットなどによる自習 | (選択式) | 利用している, 利用していない |

5. 前問の学び直し（リカレント教育）や研修はどのようなテーマ内容について学ばれているかについてお教えてください（具体的に記載ください）。（記述式）

6. 岡山大学の大学院でどのような形態で学び直し（リカレント教育）や研修のプログラムが準備されれば、御社・機関の従業員の皆様に受講頂けるかを、それぞれについてお答えください。

- | | | |
|--|-------|--------------|
| ①実際に教室に出席して対面で授業を受け、受講者で意見交換ができるような形態 | (選択式) | 受講したい, 受講しない |
| ②Web を活用した授業と Web 上での受講者間での意見交換ができるような形態 | (選択式) | 受講したい, 受講しない |
| ③Web 授業と上記対面授業のミックス型のような形態 | (選択式) | 受講したい, 受講しない |
| ④サマースクール等、短期間の集中対面型のような形態 | (選択式) | 受講したい, 受講しない |

6-2. また、社会人の皆様に大学院の正規課程でも学んで頂くために、Web を活用した授業やゼミなどの実施が考えられます。今後、どのような課題をクリアできれば、御社・機関の従業員の皆様に大学院の正規課程で学んで頂けますでしょうか、お答えください。（記述式）

7. 御社・機関の従業員の皆様に岡山大学で受講させたい、学び直し（リカレント教育）や研修の内容について、以下の項目についてそれぞれお答えください。

- | | | |
|---------------------------|-------|--------------|
| ①組織内法務研修法務一般、契約コンプライアンス研修 | (選択式) | 受講させたい, 必要ない |
| ②国際法務（国際契約研修） | (選択式) | 受講させたい, 必要ない |
| ③事業継承と地域経営 | (選択式) | 受講させたい, 必要ない |
| ④事業のデジタル化と情報セキュリティ | (選択式) | 受講させたい, 必要ない |
| ⑤データサイエンス | (選択式) | 受講させたい, 必要ない |
| ⑥事業構想とイノベーション | (選択式) | 受講させたい, 必要ない |
| ⑦リーダーシップと SDGs | (選択式) | 受講させたい, 必要ない |

8. 本学の大学院改革では、産業界・地域との共創（オープンイノベーション）を推進する中で、世界に通用する博士人材を共育（現職または将来の従業員の皆様を、共同研究を通して共に育て学位取得を目指して頂く）し、地域社会の活性化への貢献を通して本学の研究力を一体的に強化したいと考えています。また、本学の大学院改革に合わせ、会員制の「岡山大学パートナーズ（仮称）」組織を作り、岡山大学の大学院でのリカレント教育や、インターンシップの受け入れ、講師派遣などを通じた、修士・博士人材の「共育」による御社・機関のニーズに沿った人材確保や、本学大学院との共同研究・開発を通じた、「共創」による御社・機関の研究・開発機能のサポートに資する仕組みを構築したいと考えています。そのような仕組みに対する御社・機関のお考えをお伺いします。以下の取り組みについてご検討頂けるかを、それぞれについてお答えください。

- | | | |
|---------------------------|-------|----------------|
| ①この共育・共創の仕組みに講師として従業員様を派遣 | (選択式) | 検討してもよい, 検討しない |
| ②この共育・共創の仕組みに従業員様を学生として派遣 | (選択式) | 検討してもよい, 検討しない |

- ③この共育・共創の仕組みで共同研究を実施
(選択式) 検討してもよい, 検討しない
- ④この共育・共創の仕組みで共育した学生の雇用
(選択式) 検討してもよい, 検討しない
- ⑤この共育・共創の仕組みへのご参加
(選択式) 検討してもよい, 検討しない

9. 岡山大学の大学院修了生に、高度人材としてどのような能力（学修成果）の修得を望まれるかを以下の能力についてそれぞれお答えください。

- ①新たな課題の発見とその解決策を具体的に提案する企画力
(選択式) 修得を望む, 望まない
- ②課題解決能力
(選択式) 修得を望む, 望まない
- ③文章力・表現（プレゼンテーション）力
(選択式) 修得を望む, 望まない
- ④組織内外の関係者と結びつき成果に導くリーダーシップ力
(選択式) 修得を望む, 望まない
- ⑤新たな事業等を見出し開発するイノベーション力
(選択式) 修得を望む, 望まない
- ⑥高度な専門性
(選択式) 修得を望む, 望まない
- ⑦国際通用性（語学力・異文化理解・交渉力）
(選択式) 修得を望む, 望まない
- ⑧幅広い教養・基礎学力
(選択式) 修得を望む, 望まない
- ⑨コミュニケーション能力・協調性
(選択式) 修得を望む, 望まない

10. 本学の大学院改革では、研究成果を活かす能力のある博士人材の養成を目指します。御社・機関での、そのような博士人材の採用の可能性について、お教えてください。（選択式）

- ・ これまでも博士人材を採用してきたが、今後も採用する（雇用拡大を含む）
- ・ これまで博士人材の採用はなかったが、今後博士修了予定者の採用を考えてもよい
- ・ 大学院在学中から人材を共育できるのであれば、博士人材の採用を考えても良い
- ・ 博士の採用の予定はなく修士・学部卒の採用で十分
- ・ その他（記述式）